

# 行政視察等報告書

平成31年3月4日

境港市議会  
議長 終 康弘 様

会派名 自民クラブ  
代表者 荒井 秀行



下記のとおり行政視察（調査・研修）を行ったので、その結果を報告します。

## 記

1 視察等期間	平成31年2月6日（水）～ 平成31年2月7日（木）
2 視察等先及び内容	1) 平成31年2月6日（水） （視察場所）： 埼玉県 秩父宮記念市民会館、秩父市役所 （視察内容）： ・秩父宮市民会館建設の管理運営計画の策定及び運用状況 ・市庁舎建て替えについて  2) 平成31年2月7日（木） （視察場所）： 東京都 東京ビッグサイト （視察内容）： 東京ケアウィーク2019 超高齢社会のまちづくり展、介護テクノロジー展等
視察等議員	荒井秀行・永井 章・佐名木知信・築谷敏雄
4 総 経 費	合計（4名）207,280円（一人当たり51,820円） ※一人当たり経費に端数が出る場合は円未満切り捨て
5 所 見 等	別紙のとおり

## 1) 平成31年2月6日(水)

内 容： 埼玉県 秩父宮記念市民会館、秩父市役所  
○秩父宮記念市民会館における管理運営計画の策定及び運用  
状況について。  
○市庁舎建て替えについて。

報 告 者： 築谷敏雄

視察先説明者： 秩父市役所 市長室長 高橋 進  
市長室地域政策課次長兼 引間 淳夫  
地域整備部建築住宅課 大野 真吾  
秩父宮記念市民会館 館長 横田 佳子

### 【所見等】

#### 1. 秩父市の概要

秩父市は、平成17年4月に1市1町2村の新設合併により誕生し、埼玉県の西部にあり、群馬県、長野県、山梨県および東京都に接し、東京都心から60～80km圏内に位置する。人口は、約6万3千人で、面積は、約577k㎡でその約87%を山林が占め、自然環境に恵まれた地域である。

#### 2. 建設の経緯

平成17年度に本庁舎及び市民会館の耐震診断調査を実施した結果、耐震対策と大規模な老朽化対策の必要性が示され、対策の検討を進めてきた。

平成23年3月11日の東日本大震災で両施設が被災し、応急危険度判定を行ったところ「要注意建物」であるとの診断が下されたことから、市民の安全を考え両施設とも閉鎖とし、その後、両施設の今後の在り方について検討が進められ、平成23年12月には、市として「本庁舎及び市民会館を現在の本庁舎の位置に合築して建替える」という建設基本方針を策定した。平成24年5月には「建設基本構想」を策定し、敷地条件、施設の規模・機能・構造、事業費などの概要をまとめ、同年10月に公募型プロポーザル方式により設計者を選定し、設計業務委託を行い、基本設計の段階では公募市民によるワークショップや市民会館ホール等利用者団体懇談会を開催し、市民の意見を取り入れた設計をまとめ、建設に至った。

#### 3. 施設のコンセプト

- ① (秩父市役所本庁舎) ・市民目線に立って安心して頼れる市役所  
市民を守る防災拠点、利用しやすく、親しみやすい庁舎、市民に開かれた議会部門、木材を活用し、秩父らしさを感じられる庁舎。

- ② (秩父宮記念市民会会館) ・地域文化の殿堂としての市民会館  
郷土の誇りとなる芸術文化創造拠点、1,007席の観やすい客席、優れたホールの音響、秩父の木に包まれた内装。

#### 4. 計画概要

- ・建築面積：4,096 m<sup>2</sup>、延べ面積9,926 m<sup>2</sup>
- ・構造：階数鉄骨鉄筋コンクリート造（一部鉄骨造）地下1階地上4階建
- ・用途：庁舎・劇場
- ・工期：平成26年12月25日～平成28年12月28日

※旧施設（本庁舎5,626+市民会館5,596）延べ床面積11,223.3 m<sup>2</sup>

新施設（合築：本庁舎4,810+市民会館5,116）延べ床面積9,926.75 m<sup>2</sup>

- ・庁舎はコンパクトに市民会館機能は充実させる。

#### 5. 財源について

- ① 基本構想約49億円（平成24年5月）  
（合併特例債15億円+基金30億円+補助金3億円+一般財源1億円）
- ② 実施設計約58億円（平成26年2月）  
（合併特例債24.5億円+基金30.1億円+補助金2.3億円+一般財源1億円）
- ③ 実勢価格約65億円（平成26年8月）  
（合併特例債32.5億円+基金22.1億円+補助金8.5億円+一般財源1.9億円）

#### 6. 市民会館の管理運営計画策定について

会館の有効活用・利用促進を図るための管理運営計画策定するにあたり、計画の策定するための支援業務を民間に委託した。また、ワークショップを平成27年5月から10月にかけて計6回開催を行なった。平成28年1月に策定をした。内容は、「管理運営計画策定の目的、検討経緯及び現状、基本方針、事業計画、運営組織計画、施設管理計画、収支計画、広報宣伝計画、今後のスケジュール」である。

#### 7. 市民会館の運用について

管理は直営で行ない、舞台技術管理業務と会館運営支援業務（主に自主業務）を委託している。

## 8. 市民会館の利用状況

平成29年度の利用率は、大ホール47.2%、けやきA52.4%、けやきB46.6%、けやきC35.0%、けやきD37.2%、会議室1 35.3%、会議室2 24.3%  
利用者数の合計は74,663人であった。

## 9. 所見

秩父市においては、耐震性能など事情により庁舎と市民会館の合築となったところが、他の自治体ではあまりみない取り組みである。庁舎はコンパクトで、災害に強い庁舎、総合窓口の設置やユニバーサルデザインの導入など、市民が利用しやすく、親しみやすい庁舎であり、まちづくりの拠点となる市民交流スペースや、多目的会議室など、市民が集い、交流できる拠点としての機能が十分に施してある。あくまでも、市民目線で意見が随所に取り入れられていると感じた。本市においても市庁舎建設について、近い将来必ず取り組んでいかなければならない事案であり、他市の取り組みを参考にしながら、様々な調査・研究を重ねる必要があると考える。

市民会館については、計画当初から市民の意見を取り入れ、大ホール・舞台・多目的ホールには秩父産の木材がふんだんに使用され、温かみのある施設に仕上がっている。本市の（仮称）市民交流センターについては、多機能複合型施設として計画されているが、管理運営において十分に議論を行ない、管理運営計画を策定しなければならないと考える。

## 2) 平成31年2月7日（木）

内 容：東京ケアウィーク 2019（超高齢社会のまちづくり展、介護テクノロジー展等）

報 告 者：荒井 秀行

### 【 概 要 】

東京ビックサイト会場において、「超高齢社会のまちづくり」、「介護テクノロジー展」、「介護施設ソリューション展」、「介護施設産業展」、「介護用品展」、「健康長寿産業展」が共同で東京ケアウィーク 2019として開催された。その中から、4点内容の紹介をします。

### ① 愛知県豊明市のデマンドタクシー：チョイソコとよあけ

運営の仕方は、利用者の要望に応じて運行するデマンド型乗合い送迎サービスです。買い物・医療難民解決に向けてのサービスを自動車メーカー（ア

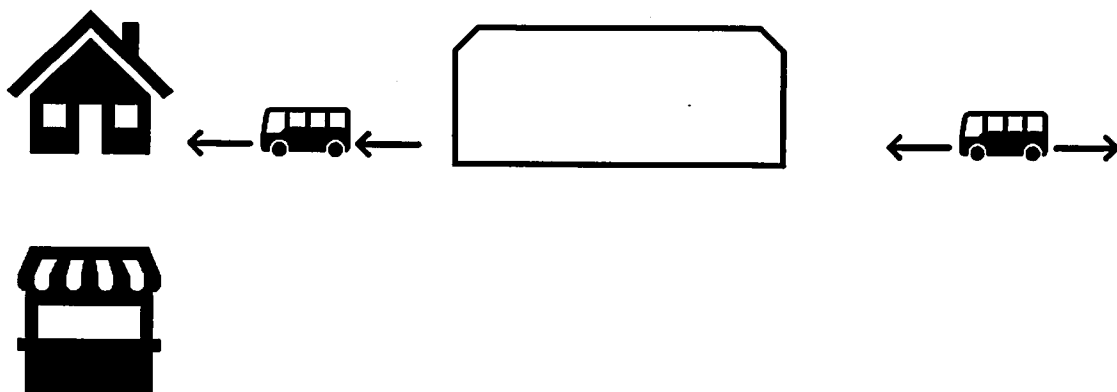
イシン) とスギ薬局が提携して、システムを開発したものです。このシステムは、利用者から予約を受け、最適な乗り合わせと経路を計算し、目的地までお客さんを運ぶものです。この運営には、地域のタクシー会社と協力運行します。エリアスポンサーからの協賛金で運営を維持されています。現在(平成31年2月)豊明市で実証実験を実施しています。また、実証実験を始める前に、地域住民向け説明会を多数開催し、周知・理解を高めました。

・チョイソコのシステム：事前に登録した利用者は、最短30分から、1週間先までの期間において、電話で予約が出来ます。利用者からの予約を受け、最適な乗り合わせと経路を計算し、目的地まで運ぶ仕組みです。

・チョイソコは地域のタクシー会社と協力して運行し、エリアスポンサーからの協賛金で運営維持します。(停留所のある場所がエリアサービス)

(乗車場所となる企業などからの協賛金で、できる限り安い運賃で高齢者が外出できるようにする。人口5千人程度を一つのエリアとし、実証実験後事業化をする。)

② SANPO (介護福祉施設向け弱者支援サービス) : 買い物弱者支援システム



高齢者宅      ※送迎時の個別配送      介護事業所      商品の引き取り  
小売業者

- ・デイサービスに通っている高齢者は、介護施設で VR (仮想実現) によるショッピングをします。(契約した店舗で、店内のモニターを見ながら、自分が買い物している目線でショッピングをする。) 午前中にネットで注文をし、午後、帰りに注文した商品を持ち帰る。
  - ・ネット注文され商品は、施設の車で契約した店舗へ商品を引き取りに行き、介護施設まで持ち帰る。施設利用者が帰る時に自宅に持ち帰る。
- メリット：配送と送迎の相乗りを実現。少額の買い物手数料を利用者から頂くことで収入の増加が見込める。SANPO の導入により、介護施設の買い物支援がレクリエーションの一環として入施設利用者の楽しみの時間となり、

また施設スタッフの負担軽減につながる取り組みとなる。

※VRを使うことで「お店に行ってみて買いたい」を実現し、「まるでお店にいるような没入感！その日に届く！」・・・買い物難民の高齢者が、疑似買い物体験が出来る。

### ③ ㈱エスコの省エネ対策

・環境省二酸化炭素排出抑制対策事業の省エネ診断と設備更新について、平成31年度まで、既設建物の省エネ診断の申請をすると、その掛かる費用(100万円まで)に対して100%の補助有ります。建物所有者は、診断報告を受けて、施設の改修計画を立てるための参考資料にする。先の計画に基づき省エネ改修を行う時には、対象事業の1/3の補助金を受けることができます。

・市の施設で省エネ診断を受ける場合、耐震改修が終わった市の建物で、設備改修の必要な建物は、必要に応じて診断を受ける。  
診断のための費用は100%補助であり、改修工事費の1/3の補助金が受けられる。(適切な省エネ設備改修が可能になる)

### ④ トレファーム(東レ建設株式会社)

砂栽培農業施設：農作業を楽しくしたい。こうした思いから生まれたトレファームはより多くの「人」に農業に携わる機会を作り出します。携わる「人」が広がれば農業に役割も広がります。トレファームを通じて「野菜づくり」から「生きがいつくり」へ、そして「コミュニティづくり」から「まちづくり」へと発展していきます。このシステムの特徴は、【砂栽培】で連作障害が少ない。

【IoT栽培支援システム】により面倒な灌水を自動化し肥料や水遣り作業の省力化。【シェアリングシステム】農業の作業を細分化し、スマホを通じてシェアすることで、作業したい人とのマッチングを実現し、様々な人々の集いの場をつくる。【高床式農業ベット】腰をかがめず作業が出来、高齢者にも「楽しく楽に」農業に取り組みます。

- ・・・「楽しく、楽に、人が集う」農業で人の生きがいとしてのツール。
- ・・・「トレファーム」による介護付き・仕事つき住宅の提案でもあります。

以上4つのシステムを紹介しました。条件に応じて、取り組み方が変わると思います。地域毎の取り組みもあると思います。優先順位を考え、抱える問題を解決しながら、人が生きることの楽しい(苦しみが少ない)社会の構築に努めなければなりません。境港市で、今そして、15年先までにいち早く取り組まなければならない問題は何か？考えていく必要がある。